

カンガルーシップ活動 共生プロジェクト 実施報告書

報告日	平成30年2月22日
主管学校名	福島大学附属特別支援学校
P T A 会長名	齋藤 伸

実施概要	主管校	福島大学附属特別支援学校
	交流校	福島大学附属中学校・福島大学附属小学校・福島大学附属幼稚園
	実施活動名	福島大学附属四校園交流事業 および福島大学附属特別支援学校創立40周年記念副島賢和先生講演会
	実施日時	特支サマーフェスティバル(7/23) 特支ふようフェスティバル(11/18) 副島先生講演会(1/21) “カフェ・ハピネス”への幼稚園児招待(2/14)
	実施場所	福島大学附属特別支援学校
	実施目的	福島大学附属四校園における児童・保護者の交流と特別支援教育についての理解促進
	実施内容	講演会における保護者間交流および福島大学附属校園での児童・生徒の交流
	実施方法	特支行事への福島大学附属幼・小・中の児童生徒の参加・交流 および副島賢和先生講演会を四校園合同で拝聴することでの学びの共有
	参加人数	160名(1/21)

報告事項	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・本校の夏祭り『サマーフェスティバル』において小・中の児童生徒との音楽交流を行った。 ・本校の学習発表会『ふようフェスティバル』への来場を学校を通じ呼び掛けた。 ・本校の『創立40周年記念 副島賢和先生講演会』に附属幼・小・中の保護者も参加して頂いた。その際、福島市内で活動している福島東稜高校演劇部による『知的障がいのある方への合理的配慮』と題した寸劇も共に鑑賞した。 ・本校高等部の校内実習“カフェ・ハピネス”に幼稚園児を招待し、交流を行った。
	結果	<p>『サマーフェスティバル』 附属小・中学校の音楽部の演奏に合わせて本校児童生徒が楽しそうに踊り、また、本校の校歌をともに歌うなど交流をすることで“障がい”への距離を少し詰めることが出来たのではと感じました。</p> <p>『ふようフェスティバル』 案内は行ったものの土曜日ということもあり、小・中からは教員以外の参加者は確認出来なかった。</p> <p>『創立40周年記念 副島賢和先生講演会』 附属小・中・幼と福島市内支援学校への案内で定員に満たなかった為、範囲を拡大（他の市内小中学校および保育園等）して広報し、その結果、多くの方々に足をお運び頂くことが出来た。参加者は副島先生の講演から“様々な状況にある子ども達との関わり”について学び、また、併せて観賞した演劇『知的障がいのある方への合理的配慮』は“障がいについての理解”を深めて頂くきっかけに出来たと感じる。地域の方々に多く来場を頂いたことは特別支援学校のことを広く知って頂く意味で良かった。</p> <p>『“カフェ・ハピネス”への幼稚園児招待』 本校高等部の大切な学習の場であるカフェに来店してもらうことで高等部生徒は“やりがいと働くことの喜び”を、幼稚園児は“自分で注文・飲食する楽しさ”を感じてもらえたのではないと思う。</p>
	所感	<p>『サマーフェスティバル』は小・中学校の音楽部にとっては“障がいのある方を意識する機会”であると同時に“練習の成果を発表する貴重な機会”にもなっているのではと多くの小・中学校保護者が来場される様子を見て感じた。</p> <p>『ふようフェスティバル』は本来、家族に学習の成果を披露することが目的であり例年通りの素晴らしい一日となったが、精一杯がんばる本校児童生徒の姿を広く見て頂きたいとも感じました。</p> <p>『創立40周年記念 副島賢和先生講演会』は企画段階でイメージしていたより小・中・幼の関係者の参加者は少なかったが、広報の範囲を拡大したことで附属校園以外の方々（近隣地域）に本校の存在および“障がいについての理解”を伝えることが出来たのではと感じた。</p> <p>『“カフェ・ハピネス”への幼稚園児招待』は例年行っている行事ですが今年もお互いにとってプラスになる経験となったと感じた。</p>

添付書類	当日の写真および感想・収支報告
------	-----------------

カンガルーシップ活動 共生プロジェクト参加感想

提出日 平成30年2月22日

学校名 福島大学附属特別支援学校

交流事業の様子

●サマーフェスティバル



●ふようフェスティバル



●カフェ交流



カンガルーシップ活動 共生プロジェクト参加感想

提出日	平成30年2月22日
学校名	福島大学附属特別支援学校

『副島賢和先生 講演会&福島東稜高校演劇部 啓発公演』に参加された方からの感想

【本校参加者より】

- ・副島先生のご講演は子どもたちを想う気持ちが強く伝わってきて胸が熱くなりました。
- ・福島東稜高校演劇部の皆さんの公演は障がいのある子本人や親の立場に立って演技をされていて感動しました。普段“障がい”について考えるきっかけの無い方々にもぜひ見て頂きたい内容でした。

【本校以外からの参加者より】

- ・入院経験のある私は当時「治るのだろうか？勉強追い付けるだろうか？親や家族にもうしわけないな。。」と感じていましたが副島先生のような先生がいてくれたらどんなに励まされただろう。いま鬱々として入院生活を過ごしている子どもたちもどれだけ励まされるだろうと思いました。
- ・何ごとも他人ごとだと思わず「自分がそうだったら。。」と考えて行動するって大切だなと感じました。
- ・熱いご講演に感動しました。涙もたくさん流し、自分も頑張らなくてはと想いを新たにしました。
- ・看護師を目指す専門学校生に教える立場ですが講義の参考にもなるお話でした。

●●●●●当日の様子●●●●●

